

潜在保育士復職支援研修会のあり方 ー研修会参加者に対する個別インタビューからー

○松浦美晴 (山陽学園大学)
皆川 順 (浦和大学)

上地玲子 # (山陽学園大学)

キーワード：潜在保育士、復職支援、研修会

目 的

現在、保育士の資格を持ちながら働いていない「潜在保育士」の多さが問題となっている。本研究は、潜在保育士の復職をうながす復職支援研修会のあり方を検討することを目的とし、潜在保育士復職支援研修会の参加者を対象に、望まれる研修会のあり方についてのインタビューを実施し、感想・意見を拾い上げ、ボトムアップ的に考察することにした。

方 法

平成27年8月に、瀬戸内地方A県の「潜在保育士復職支援事業」の一環として、県内の潜在保育士を対象とする研修会が開催された。前年度にB短期大学卒業生を対象に実施したアンケートに基づき、「子ども理解に基づく保育内容（講義）」「保育に役立つ『集団遊び』（実技）」「牛乳パックを使ったおもちゃ作りと遊び（講義と実技）」「自治体担当者による就職情報説明会」という内容であった。研修会終了後、参加者11名のうち、同意の得られた3名に個別に半構造化インタビューを実施した。協力者の発話内容を逐語化し、語られた内容ごとに区切り、類似した内容ごとに分類した。分類された内容を概念化し、カテゴリー名とした。

結果と考察

5つの上位カテゴリーそれぞれの下位カテゴリーが得られた（表1）。

「集う場・つながる場」の提供 「他の参加者の姿を見て復職への勇気がでた」（III-6）という、参加の感想がある。これは、「復職に二の足を踏んでいる」（I-1）という現状から一歩踏み出すために、研修内容ではなく、他の参加者の存在が有効であったことを示す。これまで協調学習や協同学習についての諸研究において、学習者相互のコミュニケーションやフィードバックが有効とされていることから、他の参加者の存在が研修会で果たす役割は大きい。集う場、つながる場の提供が重要であり、そうしたニーズが「参加者を集めるための宣伝をしっかりとしてほしい」（IV-5）という要求に繋がったのであろう。

「自学の支援・補完」 「プリントや動画など、自習できるツールを提供してほしい」（IV-1）から、自学支援としての研修会の役割が期待されているといえる。また、「自習で習得できる範囲以上の内容がほしい」（IV-4）は、自学を前提として研究会にはその補完を求めているといえる。また、研修

会参加により「自分の不足している部分を再認識した」（III-3）から、自学の目標設定に研修会を利用するというニーズもあるといえる。

「最新の情報の提供」 保育士にとって、知識や技能の更新や向上は必須である。一度現場から遠ざかった潜在保育士であれば、復職にあたり「現場から離れて情報がない」（I-5）という不安、「自分が学んだ時代ではなく、今の時代の保育について知りたい」（II-2）、「今流行っている手遊びなど最新の技能を提供してほしい」（IV-2）というニーズはなおさら大きいであろう。また、「具体的な施設・事業所の情報提供が欲しい」（IV-3）といった就職情報の提供も求められている。

これらのボトムアップ的に拾い上げた結果については、今後、先行研究にもとづく枠組みを設定し、実証研究を進める必要がある。

表1 研修会参加者から得られたカテゴリー

I 自分の現状について	1 復職に二の足を踏んでいる
	2 復職に前向きな気持ちがある
	3 保育職以外の福祉職に就いている
	4 もと幼稚園教諭だが、現場を離れて長い
	5 現場から離れて情報がない
	6 保育職ではないが、子どもとの関わりができる仕事に就いている
	7 復職のために施設に求める条件がある
II 研修会に参加の理由	1 忘れていた知識を思い出したい
	2 自分が学んだ時代ではなく、今の時代の保育について知りたい
	3 他の分野の仕事をしているが、子どもに関わる仕事に戻りたい
	4 復職の準備のため
	5 子育て経験を持つ今だからこそ、以前と違う学びができると期待
	6 学ぶことが好きで、学習の機会を求めている
III 研修会に参加しての感想	1 期待以上の内容に満足した
	2 実践的な内容に満足した
	3 自分の不足している部分を再認識した
	4 過去に学んだ知識の捉え方が変わった
	5 自分が考えていたことが正しいとわかった
	6 他の参加者の姿を見て復職への勇気がでた
	7 再就職への意欲が向上した
	8 実践内容に対して時間が足りないという不満があった
	9 参加人数が少ないという不満
	10 開催への感謝の気持ち
IV これから研修会に求めるもの	1 プリントや動画など、自習できるツールを提供してほしい
	2 今流行っている手遊びなど最新の技能を提供してほしい
	3 具体的な施設・事業所の情報提供が欲しい
	4 自学で習得できる範囲以上の内容がほしい
	5 参加者を集めるための宣伝をしっかりとしてほしい
	6 単発の研修会や講義なら参加したい
	7 母校で開催の研修会は参加しやすい
研修会の効果についての考え	1 研修会が復職のきっかけになりうと思う
	2 収入の不安に対しては、研修会は役に立たないと思う

（本研究は、「山陽学園短期大学潜在保育士復職支援プロジェクト」の協力を得た。）